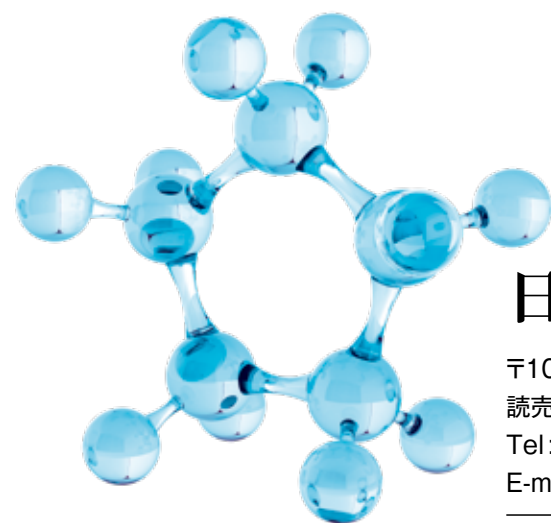




日本学生科学賞事務局

〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1

読売新聞東京本社次世代事業部 日本学生科学賞事務局

Tel: 03-3216-8598 (平日10時~17時) / Fax: 03-5200-1877

E-mail: jssa@yomiuri.com

ご不明点はお気軽にお問い合わせください。

未来を創るのは君の発見！

**JAPAN STUDENTS
SCIENCE AWARDS**

第64回

日本学生 科学賞

応募要項

**総合型選抜
(旧AO入試)の
受験資格**

**内閣総理大臣賞
賞金50万円**
賞金総額 約700万円

**入賞
特典**

**国際大会
ISEFへの
代表派遣**
応募作品から選抜

募集分野 物理、化学、生物、地学、
広領域、情報・技術

募集期間 ホームページ・応募要項の各都道府県の
問い合わせ窓口で確認してください。

地方審査
2020年
9月~10月

日本学生科学賞は、中学生・高校生を対象にした
歴史と伝統のある日本一の科学コンクールです。
未来につながる科学から、身近にある疑問を解く研究まで大歓迎。
高校生には、アメリカで開催される
ISEF (国際学生科学技術フェア) への派遣のチャンスもあります。

主催 読売新聞社

協賛 AsahiKASEI

共催 JST 科学技術振興機構



概要

1957年に始まった日本学生科学賞は、中学生、高校生を対象にした歴史と伝統のある日本最高峰の科学コンクールです。昨年の第63回大会では、全国の中学・高校から約7万点の研究作品が参加しました。

今大会でも、身の回りの小さな疑問や不思議の解明、教科書に書かれている学説に対する疑問の解決などについて、個人、もしくは生徒が共同で行った実験・研究・調査などの作品を募集します。学校の課題研究の発表も歓迎。「科学する心」が伝わる研究作品を強く期待します。

応募資格

中学・高校の生徒。国・公・私立は不問。
高等専門学校、定時制高校の生徒は3年生まで。

募集分野

6分野の研究作品を募集します。
物理、化学、生物、地学、広領域、情報・技術
※広領域は複数の分野にわたる研究など。
※情報・技術は中央審査のみ。

賞

楯と副賞（研究奨励金）が贈られます。

内閣総理大臣賞

2点 ……中学・高校から各1点
副賞 50万円

文部科学大臣賞

4点 ……中学の個人・共同研究から各1点、
高校の個人・共同研究から各1点
副賞 30万円

環境大臣賞

科学技術政策担当大臣賞

いずれも2点 ……中学・高校から各1点
副賞 30万円

全日本科学教育振興委員会賞

読売新聞社賞

科学技術振興機構賞

日本科学未来館賞

旭化成賞

読売理工学院賞

いずれも2点 ……中学・高校から各1点
副賞 20万円

※上記の賞は「該当研究無し」という場合もあります。
※文部科学大臣賞以外の各賞は個人・共同研究の区別はありません。
※研究奨励金は受賞者の在籍校に贈られます。

入選

楯が贈られます。

1等 18点…中学・高校から各9点
2等 20点…中学・高校から各10点
3等 22点…中学・高校から各11点

※入選点数は若干の増減があります。

特別賞

楯と副賞（研究奨励金）が贈られます。

学校賞

これまで、本賞で優秀な成績を残している学校や、
科学教育に熱心に取り組み、成果を上げている
学校などに授与されます。
2校…中学・高校各1校
副賞 20万円

指導教諭賞

これまで、本賞を通じて長年にわたり科学教育に貢
献してきた教諭の中から、顕著な功績をおさめられ
た方に授与されます。
若干名
副賞 20万円

※「該当校、教諭無し」という場合もあります。
※研究奨励金は受賞者の在籍校に贈られます。

高校生が中央最終審査で上位入賞すると、
総合型選抜（旧AO入試）の受験資格が得られるほか、
ISEF2021へ代表派遣されるチャンスがあります。

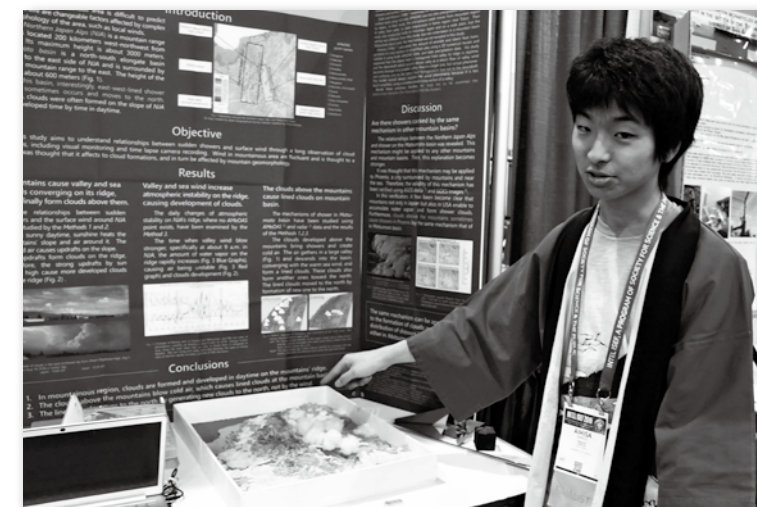
大学の入試で合格者続々！！

入賞者は、慶應義塾大学（理工学部など）、早稲田大学（先進理工学部）、大阪大学（理学部など）、千葉大学（工学部）で総合型選抜の受験資格が得られます。

2020年度の推薦入試では、第62回の受賞者が東京大学や東京工業大学に合格するなど、多くの入賞・入選者が、国公立・私立大学に入学しています。詳しくは各大学にお問い合わせください。

日本代表として世界に挑戦

毎年、アメリカ合衆国で開催される世界最大の学生科学コンテストISEF（国際学生科学技術フェア）へ代表派遣します。詳しくは7ページをご覧ください。



ISEF2019の様子

もっと過去の研究を知りたい場合は…

①公式ホームページでは、全63回分の作品名・学校名などを検索できるほか、要項を含めた詳しい本賞の内容がご覧になれます。

公式ホームページ <https://event.yomiuri.co.jp/jssa/>



②第55回以降の入賞・入選（一部除く）作品は、お茶の水女子大学「理科自由研究データベース」でご覧になれます。

データベース <http://sec-db.cf.ocha.ac.jp/>



●主催：読売新聞社 ●共催：全日本科学教育振興委員会、国立研究開発法人 科学技術振興機構
●後援：内閣府、文部科学省、環境省、特許庁 ●協賛：旭化成



審査の流れ

※新型コロナウイルス感染症の影響により、審査方法やスケジュールが変更になる可能性があります。

地方審査

期間 **9月～10月**

募集分野 **物理・化学・生物・地学・広領域**

9月から10月にかけて都道府県ごとに、研究作品を受け付けます。

応募方法 公式ホームページ上の出品票または、この「応募要項」10ページの出品票に必要事項を記入し、作品に添付してご応募ください。

送付先など 作品の送り先、受付期間、応募基準などの詳細は9ページの「第64回(2020年)都道府県 問い合わせ」や、読売新聞の各地域版でご確認ください。

※応募先は、学校が所在する都道府県となります。
※東京都審査は、web登録が必要となります。詳しくは10ページ下部をご覧ください。
※ISEF出場を目指す研究作品は、7ページもご覧ください。

都道府県ごとに中央予備審査に進む代表作品を、原則として中学の部、高校の部で各3点決めます。ただし北海道、千葉、埼玉、東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡は各6点です。
審査結果は読売新聞の各地域版で発表します。

事前審査

募集分野 **情報・技術**

「情報・技術」の作品は、地方審査(都道府県大会)を行わず、中央予備審査に進む作品を選定する事前審査を行います。

- 応募方法**
- ①公式ホームページ内の「情報・技術用応募フォーム」に必要事項を入力し、登録を行ってください。
 - ②入力後、応募フォームに記入したE-mailアドレスに登録完了メールが送られてきます。登録完了メールに記載されているID、PASSを用いて、マイページへログインしてください。
※ID、PASSはなくさないよう保管してください。
 - ③ログイン後に、マイページから研究レポートをアップロードしてください。
※研究レポートは、6ページの「研究レポート規定」に従い作成してください。
 - ④研究レポートをプリントアウトし、出品票と共に下記事務局まで郵送してください。

送付先 〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
読売新聞東京本社次世代事業部 日本学生科学賞事務局
TEL 03-3216-8598 FAX 03-5200-1877

受付期間 2020年9月2日(水)～10月25日(日)
※審査結果は応募フォームに入力したE-mailアドレスにお知らせします。

注 意

- 研究の際、表計算ソフトを使用したというだけでは、この分野の対象にはなりません。
- 明らかに他分野(物理・化学・生物・地学)の作品は審査できません。地方審査にご応募下さい。

中央予備審査に向けた登録

地方審査を通過し、都道府県代表に選ばれた作品は、中央予備審査前に下記の登録作業・研究レポートの提出を行って下さい。

- ①6ページの「研究レポート規定」に従った研究レポートを用意してください(地方審査の形式と異なる場合があります)。
- ②公式ホームページから「中央予備審査登録フォーム」に必要事項を入力の上、研究レポートを郵送してください。
※詳細は、地方審査終了後、対象者に直接通知します。

中央予備審査

期間 **11月14日(土)・15日(日)**

審査委員が分野ごとに審査を行い、中央最終審査に進む中学・高校各20点と、入選2等、3等の作品を決定します。



中央予備審査会の様子

中央最終審査

期間 **12月22日(火)・23日(水)**

表彰式 **12月24日(木)**

日本科学未来館(東京・江東区)で開催。中央予備審査を通過した研究作品40点について、その研究者と指導教諭が審査会に参加し、審査委員が直接研究者に質問する対面審査を行います。

各作品には展示ブースが用意されます。研究者は自分の作品をブースに展示し、プレゼンテーションや質疑応答を行います。その際、指導教諭は審査員の質問に答えたり、研究者に助言を与えたりすることはできません。

審査結果は12月24日の表彰式で発表し、翌日の読売新聞全国版に掲載する予定です。

※展示ブースの詳細は、対象者に通知するとともに公式ホームページでお知らせします。



中央最終審査の様子

国際大会(ISEF)への代表派遣

2021年5月に
アメリカ合衆国内で開催される
ISEF2021へ代表作品を
派遣します。
※詳細は7ページ

中央審査委員(総合委員)

【審査委員長】長濱嘉孝 自然科学研究機構 基礎生物学研究所 名誉教授(分子生物学)	
【審査委員】 (順不同)	塚田 捷 東京大学 名誉教授(物理学)
	佐野雅己 東京大学国際高等研究所東京カレッジ 副カレッジ長・特任教授(物理学)
松川 宏 青山学院大学 理工学部 教授(物理学)	木村昌由美 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 教授(神経科学)
下井 守 東京大学 名誉教授(化学)	小林 悟 筑波大学生存ダイナミクス研究センター 教授(発生生物学)
村田 滋 東京大学大学院 総合文化研究科 教授(化学)	大路樹生 名古屋大学博物館 教授(古生物学)
西原 寛 東京理科大学 研究推進機構総合研究院 教授(化学)	酒井 敏 京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授(地学)
高橋正征 東京大学 名誉教授(生態学)	Simon Wallis 東京大学大学院 理学系研究科 教授(地学)
和田正三 東京都立大学 名誉教授(生物学)	西原明法 東京工業大学 超スマート社会卓越教育院 特任教授(電子工学)
堀 良通 茨城大学 名誉教授(植物学)	浅田 稔 大阪大学先進的学際研究機構 共生知能システム研究センター 拠点戦略顧問・特任教授(ロボット学)
町田武生 埼玉大学 名誉教授(動物学)	西成活裕 東京大学先端科学技術研究センター 教授(数理物理学・工学)

※このほか、中学、高校教諭をはじめとした委員(専門委員)約40人も審査を行います。 ※2020年7月1日現在

応募時の 注意事項

- 「高校生科学技術チャレンジ」(JSEC)は、日本学生科学賞とともに国際学生科学技術フェア(ISEF)と提携しているため、同じ研究作品を重複して応募することはできません。また、同じ学校から異なる作品を日本学生科学賞とJSECに応募した場合、同じ研究者が含まれている場合は、二重応募とみなします。
- 中学の部では「自然科学観察コンクール」に同じ研究作品を重複して応募することはできません。
- ISEF派遣対象は、高校の部と中学3年生の個人研究または2～3人の共同研究になります。4人以上の研究は対象外になりますのでご注意ください。
- 2020年1月以降のデータを含む作品に限ります。継続研究の場合、前年までの研究と、新しく研究した部分を明確に分けてご記入ください。
- 出品にあたって、文献、論文、新聞雑誌の記事、テレビなどの映像番組、インターネット、講演会、インタビューなど第三者の研究著作物を参考している場合は、参考資料として必ず明記してください。研究に虚偽がある場合、また第三者の著作権やその他の権利を侵害するものであることが確認された場合、主催者協議の上、審査対象外としたり、審査終了後でも賞を取り消したりすることがあります。
- 特許等の取得を検討している場合、申請は研究内容の発表から半年以内に行ってください。
- 中央予備審査を通過した研究作品ならびに中央最終審査の様子を撮影した画像等は主催者が本賞のPRをはじめとする各種媒体に自由に使用できるものとします。

(いずれも2020年1月26日 読売新聞紙面より)

生物
内
「



高校生の皆さん、日本代表として世界に挑戦しよう!

ISEF (アイセフ) への派遣について

ISEFとは

(International Science and Engineering Fair
= 国際学生科学技術フェア)

毎年アメリカで開催される世界最大の学生科学コンテストで、例年、世界約80の国や地域から約1800人が出場。

日本学生科学賞の代表は、2013年に日本初の部門最優秀賞を受賞するなど、高い評価を受けています。

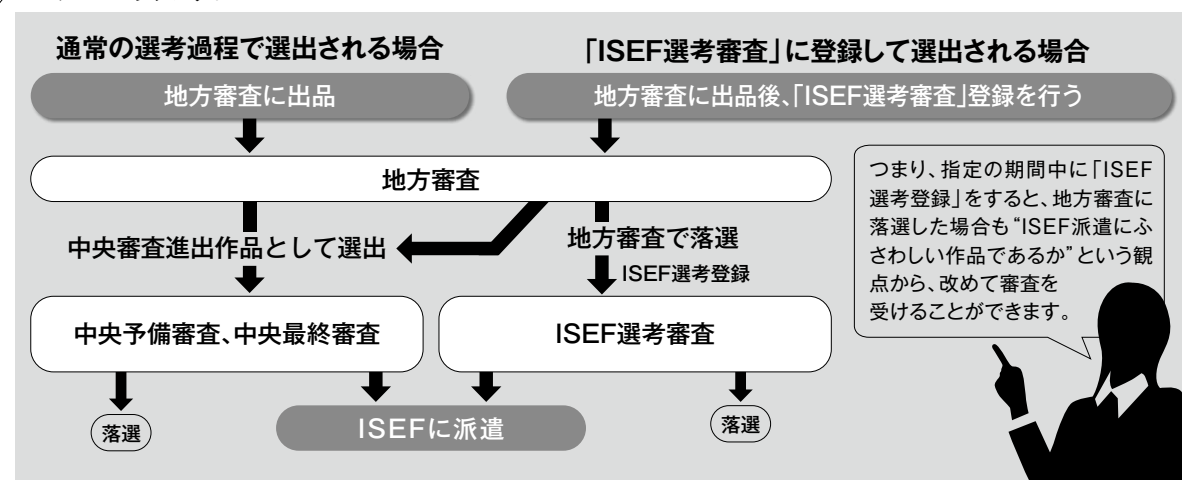
※ISEF2020は新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりましたが、ISEF2021は、アメリカ合衆国内で2021年5月に開催を予定しています。

ISEF2021への派遣作品 選考過程

対象作品 >>> 高校の部の個人研究または2~3人の共同研究。

※中学3年生が選考対象になることもあります。 ※代表生徒1人の派遣費は主催者が負担します。

選考過程 >>> 2パターンあります。



「ISEF選考登録」のご案内

登録期間 >>> 2020年10月27日(火)~11月8日(日) ※郵送は11月9日(月)必着

登録方法 >>> STEP1 各都道府県の地方審査に応募してください。

STEP2 上記の登録期間中に、日本学生科学賞公式ホームページから「ISEF選考登録」フォームを入力し、研究レポートをアップロードしてください。登録後、印刷した出品票と研究レポートを日本学生科学賞事務局(裏表紙参照)に郵送してください。

※地方審査への応募は必須条件となります。地方審査への応募が確認できなかった場合は失格となります。

ISEFへの派遣での注意点

国際学生科学技術フェア (ISEF) は、実験方法などに関する規則とガイドラインを独自に設けています。ISEFに派遣する研究作品は、ISEFの規則とガイドラインを遵守する必要があります。特に「ヒトを対象とした研究」「脊椎動物を題材とした研究」「潜在的危険性のある生物および生物由来の物質(微生物、組み替えDNA、細胞組織など)を取り扱う研究」に該当する場合は、注意する必要があります。また、潜在的危険性の高い生物因子や麻薬などの規制物質を取り扱う研究には資格を持った科学者の監督・指導が必要です。ヒトや脊椎動物を取り扱う場合にも有資格者の監督・指導が必要です。

ISEFの国際規則とガイドライン(英語版)は、ISEFのホームページでご覧いただけます。

▶ <https://www.societyforscience.org/isef/>

ISEFまでの多彩な研修とメンター制度で国際レベルに!

日本学生科学賞では、代表作品をISEFに派遣するにあたり、研究を国際レベルに高めるため、専門家の先生による助言や英語力の強化など手厚いサポートを行います。大舞台に挑むまでの研修制度をご紹介します。

第2回 ポスター・スピーチ研修

第1回研修後も、メール等でメンターの先生とのやり取りを続け、「Abstract」「Research Plan」などを完成させていきます。

3月の第2回研修では、再び派遣者とメンターの先生が顔を合わせ、本番で使用する英文ポスターやスピーチ原稿について、活発な議論を繰り広げます。2日間の研修を通じて、派遣者同士の親睦も深まります。



第2回研修の様子

いよいよ本番!

現地入り後も会場内のロビーなどで、通訳から発音や表現法の指導を受けられます。本番直前まで練習を重ね、自信をもって本番に臨みます。

※上記の研修期間や内容は年によって変更になる場合があります。

1月

3月

4月

5月

第1回 ISEF派遣者決定・説明会

ISEF派遣者・指導教諭・メンターに就任されている中央審査委員の先生(4ページ参照)が一堂に会して説明会を行います。

過去の出場者や、ISEF審査員経験者による講演会で意識を高めた後は、論文のまとめ方や発表の指導をいただくメンターの先生との打ち合わせを行います。大学教授から直接アドバイスが受けられる貴重な4か月間の始まりです。

第3回 プレゼン研修

出発を約1か月後に控え、制作中のポスターを使って英語発表を繰り返し練習します。想定される質問への対応方法など、メンターの先生から専門的なアドバイスを受け、本番までに改善すべき課題を洗い出します。



ISEF審査会場

先輩の声

国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター主任研究員 山口晴代さん

生物部に所属していた高校時代、藻類の一種「ヒカリモ」の群生する池が学校近くにあって、他の部員たちと研究しました。黄色く光って見えるヒカリモの生態は、当時ほとんど解明されていませんでした。生息条件を調べるため、培養液の濃度や成分を変えるなど、自分で方法を考えて疑問を解決していく過程が楽しかったです。研究成果を日本学生科学賞に応募したところ、文部大臣奨励賞(当時)をいただきました。

日本代表として派遣されたISEFでは、舞台の華々しさに「高校生の科学研究で、こんなに輝ける場所があるんだ」と驚きました。結果は4位で、日本勢で唯一の入賞。研究で新しいことを発見すれば認めてもらえる——あの時得た自信と喜びから、研究者の道に進むことを決めました。

卒業後、筑波大学に進学し、現在は国立環境研究所で藻類を中心とした微生物を研究しています。新種の藻を発見したほか、夢だった微生物の図鑑を刊行することもできました。日本学生科学賞がなければ、今の自分はなかったはずです。

世の中には、教科書には載っていない、解明されていないことがたくさんあります。日本学生科学賞は、誰も知らないことを調べて明らかにし、世界に発信できる貴重な機会です。研究に関心のある皆さんは、最初の一歩と思ってぜひ応募してみてください。



第64回(2020年) 都道府県 問い合わせ

	問い合わせ先	郵便番号	住所	電話番号
北海道	読売新聞 北海道支社 総務部 事業担当	060-8656	札幌市中央区北4条西4-1-8	011-242-5630
青 森	読売新聞 青森支局	030-0801	青森市新町2-2-4 6階	017-773-2121
岩 手	読売新聞 盛岡支局	020-0015	盛岡市本町通2-3-2	019-653-1441
宮 城	読売新聞 東北総局	980-0021	仙台市青葉区中央2-3-6	022-222-4121
秋 田	読売新聞 秋田支局	010-0951	秋田市山王6-2-1	018-824-2211
山 形	読売新聞 山形支局	990-9543	山形市松山3-14-69 エフエム山形2階	023-624-2121
福 島	読売新聞 福島支局	960-8063	福島市柳町4-29	024-523-1204
茨 城	茨城県教育庁 学校教育部 義務教育課	310-8588	水戸市笠原町978-6	029-301-5226
栃 木	読売新聞 宇都宮支局	320-0822	宇都宮市河原町1-4	028-638-4311
群 馬	読売新聞 前橋支局	371-0026	前橋市大手町3-7-1	027-232-4311
埼 玉	埼玉大学教育学部附属小学校 関根教諭	330-0061	さいたま市浦和区常磐6-9-44	048-833-6291
千 葉	千葉県総合教育センター	261-0014	千葉市美浜区若葉2-13	043-276-1184
東 京	読売新聞東京本社 次世代事業部 日本学生科学賞事務局	100-8055	千代田区大手町1-7-1	03-3216-8598
神奈川	横浜市立中山中学校 青木慎教諭	225-0002	横浜市青葉区美しが丘5-4	045-931-2108
新 潟	読売新聞 新潟支局	951-8551	新潟市中央区白山浦1-336	025-233-5111
富 山	富山県教育会 事務局	930-0018	富山市千歳町1-5-1	076-432-3624
石 川	石川県教員総合研修センター	921-8153	金沢市高尾町ウ31-1	076-298-3515
福 井	読売新聞 福井支局	910-0005	福井市大手3-14-9	0776-22-5220
山 梨	読売新聞 甲府支局	400-0034	甲府市宝1-9-1	055-235-2222
長 野	長野県教育委員会事務局学びの改革支援課義務教育指導係	380-8570	長野市南長野幅下692-2	026-235-7434
岐 阜	岐阜県教育委員会 学校支援課 教科教育第一係	500-8570	岐阜市藪田南2-1-1	058-272-1111 (内線3697)
静 岡	静岡県教育委員会 義務教育課 指導班	420-8601	静岡市葵区追手町9-6	054-221-3106
愛 知	読売新聞中部支社 総務部事業課	460-8470	名古屋市中区栄1-2-1	052-211-0083
三 重	読売新聞 津支局	514-0009	津市羽所町388 津三交ビルディング3階	059-225-4321
滋 賀	読売新聞 大津支局	520-0806	大津市打出浜13-1	077-522-6691
京 都	読売新聞 京都総局	604-8162	京都市中京区烏丸通六角下る 七観音町630	075-231-1111
大 阪	大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課	540-8571	大阪市中央区大手前2丁目	06-6941-0351 (内線5487)
兵 庫	兵庫県教育委員会 高校教育課	650-8567	神戸市中央区下山手通5-10-1	078-341-7711 (内線5841)
奈 良	奈良県教育委員会 事務局 学校教育課 義務教育係 山本指導主事	630-8502	奈良市登大路町30	0742-27-9854
和歌山	読売新聞 和歌山支局	640-8241	和歌山市雑賀屋町東ノ丁16	073-422-1144
鳥 取	読売新聞 鳥取支局	680-0846	鳥取市扇町7 鳥取フコク生命駅前ビル3F	0857-22-2196
島 根	読売新聞 松江支局	690-0886	松江市母衣町95-1	0852-23-1411
岡 山	読売新聞 岡山支局	700-0822	岡山市北区表町1-6-20 岡山フコク生命表町ビル2F	086-224-3377
広 島	広島県立教育センター 教科教育部	739-0144	東広島市八本松南1-2-1	082-428-1149
山 口	山口県教育庁 高校教育課 普通教育班	753-8501	山口市滝町1-1	083-933-4627
徳 島	読売新聞 徳島支局	770-0831	徳島市寺島本町西1-7-1 徳島駅前171ビル2階	088-622-3155
香 川	読売新聞 高松総局	760-0017	高松市番町1-10-21	087-861-4350
愛 媛	読売新聞 松山支局	790-0001	松山市一番町4-1-6	089-933-4300
高 知	読売新聞 高知支局	780-0870	高知市本町1-1-3 朝日生命高知本町ビル6F	088-825-2220
福 岡	読売新聞西部本社 事業部	810-8581	福岡市中央区赤坂1-16-5	092-715-6071
佐 賀	佐賀市立小中一貫校富士校中学部 井上英史中学校長	840-0501	佐賀市富士町古湯2735	0952-58-2201
長 崎	読売新聞 長崎支局	850-0862	長崎市出島町11-1	095-823-0121
熊 本	読売新聞 熊本支局	862-0976	熊本市中央区九品寺2-1-24	096-363-1177
大 分	読売新聞 大分支局	870-0046	大分市荷揚町3-1	097-534-1621
宮 崎	読売新聞 宮崎支局	880-0806	宮崎市広島1-18-7	0985-25-4254
鹿児島	読売新聞 鹿児島支局	892-0844	鹿児島市山之口町1-10 9F	099-222-7370
沖 縄	(高校)県立嘉手納高校 橋保(ねぼ)悟教諭	904-0202	中頭郡嘉手納町屋良806	098-956-3336
沖 縄	(中学)本部町立本部中学校 金城健太教諭	905-0214	国頭郡本部町渡久地231-1	0980-47-2203

第64回 日本学生科学賞 出品票

この出品票に必要な事項を記入し、作品に必ず添付してください。

科目は中央審査で必要となりますので、必ず一分野選んでください。

中学 / 高校	物理 / 化学 / 生物 / 地学 / 広領域	情報・技術	個人研究 ・ 共同研究
---------	-------------------------	-------	-------------

ふりがな	
学校名 (省略不可)	
学校住所 〒	TEL FAX
ふりがな	e-mail
指導教諭氏名	緊急連絡先 電 話 番 号
※指導者が校外の場合は学校代表者を記入してください。	

指導者が上記の学校外の場合の記入欄	
指導者所属団体(学校名など)	TEL
ふりがな	e-mail
指導者氏名	

ふりがな		(サブタイトル) ※必ずしも必要ではありません。		出品物 この研究を構成して いるものの数量を 記入してください。
研究作品名				
		※作品名は15字程度、長い場合はサブタイトルにしてください。		
個人研究	ふりがな	学年(年)	性別(男・女)	ノート・レポート 冊
	研究者氏名			
共同研究	ふりがな			CD・DVD など 枚
	グループ名	※共同研究は必ずグループ名をつけてください。 ※学校名は省略してください。		
	研究人数 人	ふりがな 代表者氏名	学年(年)	性別(男・女)

※リストや新聞表記で使います。 ※代表者以外の氏名は別途添付してください。

研究作品の概要をそれぞれ120文字程度で紹介してください。

動機や背景 もしくは目的 (なぜこの研究を 行ったのか)	
研究方法 (なぜその方法を 採用したか)	
研究結果 (どのような結果 になったか)	
まとめ・結論 (結果から言えること ・わかったこと)	
展 望 (結果から、この研究は どのように使えるか。 あるいはどのような場面 に活用できそうか。)	

東京都審査に応募の場合	①公式ホームページ上で「東京都審査応募フォーム」から必要事項を入力してください。 ②登録完了後に表示される出品票を印刷して作品に添付して郵送ください。 ※学校単位で多数応募される場合・パソコン環境によりフォームに登録できない場合などは、事務局にご連絡いただいたうえで、このページの出品票を使用してご応募ください。
-------------	--